





図4 28. Bf3まで 黒番



クライマックス・・・ここから 28... Nd2 とされ、私は顔面蒼白になっていました。

実はこの局面、29. Bh5+とすれば 29... g6 は取って取られた時に Nd7+の両取りでルークが抜けるので無いと錯覚していて、何の事はない、その直後に Nxb1 で駒損になり終了です。必死に挽回する順を探した結果、29... g6 の瞬間に 30. Rd1 とすれば駒損は回復できるのではないかという着想が浮かび、実戦も駒損は避ける事ができました。しかし感想戦で杉本さんから、30... Rc2 は無かったですかと言われア然。ナイトを守りながら Bg6 のアタックを消すというまさに一石二鳥の手！そう指されていたら負けでした。

以下 31.Nxh6+ Kg7 32. Bg5 Bb3 まで。h6 のナイトが逃げられないので黒勝ちです。

28... Nd2 29. Bh5+ g6 30. Rd1 gxh5 31. Rxd2 Rc1+ 32. Kg2 Kg6 33. Nh4+ Kf7 34. Nf5 Kg6 35. Ne7+ Kh7 (図)

図5 35... Kh7まで 白番

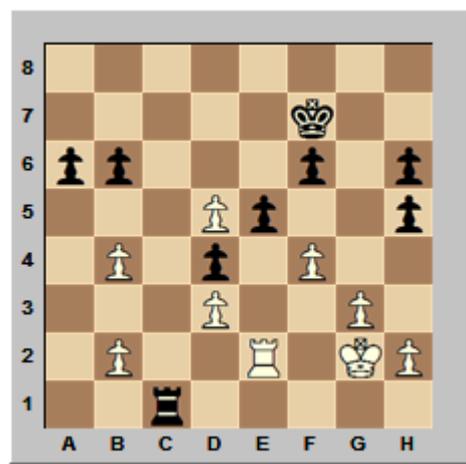


何とか勝ち切る・・・このあたりは千日手模様（将棋的表現ですみません）だったのですが、面白い手を見つけました。

ここで Nd5 とすれば両取りなので Bxd5、exd5 と進んでパスポーンが狙えるのでは無いかなと考えました。実戦もそのように進み、38. f4 から 39. Re2 が狙いすました一撃で以下何とか勝利する事ができました。

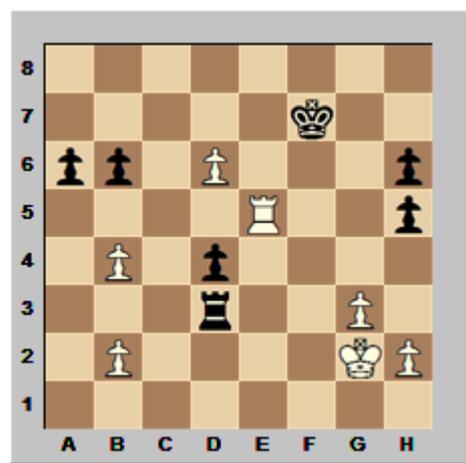
36. Nd5 Bxd5 37. exd5 Kg7 38. f4 Kf7 39. Re2 (図)

図6 39. Re2まで 黒番



39... Rd1 40. fxe5 fxe5 41. Rxe5 Rxd3 42. d6 1-0

図7 42.d6まで 黒リザイン



対局終了後・・・感想戦で色んな手を教えて下さった杉本さんには感謝しか無いです。本当にありがとうございました。

(解説：金澤健一)



